

2020年2月 定例観察会報告書

世話人代表 遠藤ちか子

日 時	2020年2月1日 10時00分～13時00分	作 成:2月5日						
探 鳥 地	JR新三田駅前～武庫川左岸～有馬富士公園	報告者:大高 松男(26期)						
参加人数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">在 校 生:24名</td> <td style="width: 33%;">顧問・相談役4名</td> <td style="width: 33%;">総計29名</td> </tr> <tr> <td>グループ わ :1名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	在 校 生:24名	顧問・相談役4名	総計29名	グループ わ :1名			天 候:晴れ一時曇り 気 温:11℃程度
在 校 生:24名	顧問・相談役4名	総計29名						
グループ わ :1名								
観察コース	新三田駅→武庫川左岸→福島橋→福島川→有馬富士公園→福島大池→有馬富士見晴台							
観察概要	<p>県立有馬富士公園周辺は森林、川、池、田畑、山、学習センターなど広大な自然、憩いの施設があり散策や探鳥に絶好の場所です。新三田駅で遠藤代表の挨拶後、堀池顧問から今日見られそうな野鳥の説明を受けた後、観察に出発。早速に武庫川で冬の水鳥類、ホオジロ、ヒバリの鳴き声、トビ、ヌートリア(ハットが逃げて野生化)などが見られ、少し緩んだ冬景色にも感激。カルガモやコガモなど水鳥は一時も休まず上流を目指して必死に泳いでいました。途中森林の中の田畑は猪対策の防護柵が目につき、人間と野生動物の共生の難しさを実感。福島大池にいる水鳥は獲付け禁止に伴い数が減っているとの堀池顧問の説明がありました。それでも多数の水鳥類が見られ、人の歩きを追いかけて来るのがいじらしく。一方でお目当てのキレンジャク、ミヤマホオジロは時遅しでしたが、ルリビタキ、ツグミ、セグロセキレイや水鳥類など計34種の鳥類が見られて幸運でした。最後は昼食を取りながら疲れを休め、新山本代表の挨拶の後解散した。</p> <p>「確認できた鳥たち」</p> <p>見た アオサギ, エナガ, オオバン, カイツブリ, カシラダカ, カルガモ, カワウ, カワラヒワ, キジバト, キンクロハジロ, クサシギ, コガモ, コゲラ, シジュウカラ, ジョウビタキ, スズメ, セグロセキレイ, ツグミ, トビ, ハクセキレイ, ハシビロガモ, ハシブトガラス, ハシボソガラス, ヒドリガモ, ヒヨドリ, ホオジロ, ホシハジロ, マガモ, メジロ, モズ, ヤマガラ, ルリビタキ, カワラバト, ケリ 計34種</p> <p>聴いた ヒバリ 1種 「おまけの動物」ヌートリア 鳥の合計35種</p>							
感 想	暖冬の日差しの中、少々歩行距離はありましたが冬鳥を狙った探鳥会が出来ました。家族連れの行楽者、野鳥写真家、ハイカーなどが彼方此方で楽しむ中を25名の大集団で鳥探しを満喫しました。自然に3グループ程度に分かれての行動になりました。今回は新役員の予行演習を兼ねての催しを無難に終えることができました。							
次回予定	ひよどりごえ森林公園 または あいな里山公園 期日 :3月7日 新役員での実行スタートです。詳細は後日お知らせします。							



福島大池の茶屋で集合写真



キンクロハジロとセグロセキレイ